

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 ユニコムグループホールディングス株式会社

コード番号 8744 URL <http://group.unicom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 二家 英彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 西山 義信

TEL 03-5623-5027

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,657	19.5	435		220		76	
22年3月期第2四半期	3,302	37.4	273		183		1,394	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年3月期第2四半期	6.83	
22年3月期第2四半期	118.16	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
23年3月期第2四半期	35,098		11,842		31.9	996.14
22年3月期	38,261		11,893		29.3	997.30

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 11,182百万円 22年3月期 11,195百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年3月期		0.00		7.00	7.00
23年3月期		0.00			
23年3月期(予想)					

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成23年3月期の配当予想額は現時点で未定であります。

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

当社グループの業績は、商品市況及び株式市況の動向により大きく影響を受ける傾向があり、業績を適正に予想することが困難であるため、当社グループは業績予想の開示を控えさせていただきます。第2四半期及び本決算の業績速報値を、決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示してまいります。

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.4「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 社 (社名 )、除外 社 (社名 )  
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
会計基準等の改正に伴う変更 無  
以外の変更 有  
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 12,920,340株 22年3月期 12,920,340株  
期末自己株式数 23年3月期2Q 1,694,102株 22年3月期 1,694,023株  
期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 11,226,280株 22年3月期2Q 11,806,029株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループでは業績予想の開示を控えさせていただいておりますので、平成23年3月期の配当につきましても開示を控えさせていただき、取締役会で配当を行う旨の決議を行った場合は、適時開示してまいります。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . その他の情報 .....	4
( 1 ) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
( 2 ) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
( 3 ) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3 . 四半期連結財務諸表 .....	5
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	5
( 2 ) 四半期連結損益計算書 .....	7
( 第 2 四半期連結累計期間 ) .....	7
( 第 2 四半期連結会計期間 ) .....	8
( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
( 6 ) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日~平成22年9月30日)における当社グループの経営成績は、商品先物取引業及び証券業が減収となったことから、営業収益は前年同期比19.5%減となる2,657百万円となりました。この結果、営業損失は435百万円(前年同期は273百万円の営業損失)、経常損失は220百万円(前年同期は183百万円の経常損失)となりました。

また、平成22年7月29日付プレスリリース「固定資産の譲渡に関するお知らせ」におきまして、賃貸用不動産の一部譲渡による固定資産売却益を204百万円計上する予定である旨お知らせしておりましたが、仲介手数料等の諸費用(約22百万円)を控除する事としたため、当該固定資産売却益の計上額は182百万円となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は76百万円(前年同期は1,394百万円の四半期純損失)となりました。

なお、各セグメントの業績は以下のとおりです。

#### 商品先物取引業

当第2四半期連結累計期間における国内商品先物市場は、市場流動性の低下による相場の乱高下が嫌気され、個人投資家が取引を手控えた事が主な原因となり、全国商品取引所出来高は前年同期比10.6%減の14,870千枚となりました。

当社グループにおきましては、上記市況の中、個人委託者による取引が伸び悩んだことから、主要市場である貴金属、石油及び農産物の各市場における委託売買高が前年同期を下回り、商品先物委託手数料収入は前年同期比2%減の1,288百万円となりました。また、商品自己売買損益が4百万円(前年同期は159百万円)となり、商品先物取引業収益は前年同期比12.5%減となる1,291百万円となりました。

#### 証券業

当第2四半期連結累計期間における国内株式市場は、4月初めに日経平均株価が11,400円台まで上昇したものの、その後は欧州発の財政不安や急速に進行する円高などの影響により上値の重い展開が続き、日経平均株価は9,000円台前半から半ばで推移いたしました。

当社グループにおきましては、上記市況の影響を大きく受け、個人投資家の取引が手控えられたことから証券委託手数料収入が前年同期比28.1%減の1,080百万円となりました。また、証券自己売買損益が69百万円(前年同期比85.6%増)、金融収支が32百万円(同4.7%増)となり、証券業収益は前年同期比24.2%減となる1,192百万円となりました。

#### 経営管理業

当第2四半期連結累計期間における経営管理業は、受取地代家賃が74百万円(前年同期比13.9%減)、その他営業収益が6百万円(同60.6%減)となりました。

#### その他

当第2四半期連結累計期間におけるその他売買損益は93百万円(前年同期比17.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は35,098百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,162百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が925百万円、金銭の信託が401百万円、差入保証金が670百万円、それぞれ減少した事等により流動資産が2,096百万円減少した事、並びに建物及び構築物が236百万円、土地が313百万円、投資有価証券が175百万円、投資その他の資産「その他」に含まれる長期差入保証金が222百万円、それぞれ減少した事により固定資産が1,065百万円減少した事によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は23,255百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,112百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が606百万円、預り証拠金(代用有価証券含む)が961百万円、信用取引負債が508百万円、預り金が523百万円、それぞれ減少した事等により、流動負債が2,626百万円減少した事、並びに固定負債が328百万円、特別法上の準備金が156百万円、それぞれ減少した事によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部では、株主資本と評価・換算差額等の合計が11,182百万円と、前連結会計年度末に比べて13百万円の減少となりました。また、少数株主持分は37百万円の減少となり、純資産合計は11,842百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は5,206百万円となり、前連結会計年度末に比べて286百万円の減少となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間中における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、958百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は392百万円の支出)となりました。これは主に、匿名組合投資損益が153百万円、固定資産除売却損益が180百万円、信用取引負債の増減額が508百万円となった事等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、896百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は933百万円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入が685百万円、投資事業組合及び匿名組合に係る収入が202百万円となった事等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、203百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は638百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が78百万円、親会社による配当金の支払額が78百万円となった事等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績は、商品市況及び株式市況の動向により大きく影響を受ける傾向があり、業績を適正に予想する事が困難であるため、当社グループは業績予想の開示を控えさせていただき、第2四半期及び本決算の業績速報値を、決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示してまいります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

特定子会社の異動はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、重要な企業結合や事業分離、業績の著しい好転又は悪化、その他経営環境に著しい変化が生じ、又は、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動があると認められる場合には、繰延税金資産の回収可能性の判断にあたり、財務諸表利用者の判断を誤らせない範囲において、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、当該著しい変化又は大幅な変更による影響を加味したものを使用しております。

### 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 持分法適用関連会社の変更

前連結会計年度まで持分法適用関連会社であった(株)トレードビジョンは、当社の影響力が低下したため、第1四半期連結会計期間より持分法適用関連会社から除外しております。

#### 2. 表示方法の変更

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

##### (四半期連結損益計算書)

イ. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

ロ. 前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「匿名組合投資利益」は、重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記する事といたしました。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「匿名組合投資利益」は6,712千円であります。

ハ. 前第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「投資事業組合運用損」は、重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記する事といたしました。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「投資事業組合運用損」は2,858千円であります。

##### (四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

イ. 前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「匿名組合投資損益」は、重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記する事といたしました。なお、前第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「匿名組合投資損益」は6,712千円であります。

当第2四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

##### (四半期連結貸借対照表)

イ. 前第2四半期連結会計期間において、流動資産の「その他」に含めて表示しておりました「トレーディング商品」は、重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より区分掲記する事といたしました。なお、前第2四半期連結会計期間の流動資産「その他」に含まれる「トレーディング商品」は42,671千円であります。

##### (四半期連結損益計算書)

イ. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失( )」の科目で表示しております。

ロ. 前第2四半期連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「投資事業組合運用損」は、重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より区分掲記する事といたしました。なお、前第2四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「投資事業組合運用損」は2,858千円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,129,437	8,054,639
委託者未収金	56,620	156,861
保管有価証券	731,953	826,936
金銭の信託	5,170,156	5,571,198
トレーディング商品	64,270	-
商品有価証券等	61,520	-
デリバティブ取引	2,749	-
信用取引資産	6,012,416	5,929,883
信用取引貸付金	5,610,652	5,073,648
信用取引借証券担保金	401,764	856,235
差入保証金	5,782,002	6,452,955
委託者先物取引差金	899,407	895,300
短期貸付金	1,150,030	1,150,114
未収入金	45,249	109,078
その他	798,196	785,105
貸倒引当金	18,231	13,731
<b>流動資産合計</b>	<b>27,821,510</b>	<b>29,918,343</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	2,908,441	3,110,058
減価償却累計額及び減損損失累計額	979,195	944,170
建物及び構築物(純額)	1,929,246	2,165,887
土地	2,800,876	3,114,576
その他	1,541,988	1,573,958
減価償却累計額及び減損損失累計額	1,128,408	1,124,172
その他(純額)	413,580	449,785
<b>有形固定資産合計</b>	<b>5,143,702</b>	<b>5,730,249</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア他	258,948	327,335
<b>無形固定資産合計</b>	<b>258,948</b>	<b>327,335</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	814,530	989,969
出資金	234,848	239,273
その他	2,079,262	2,314,907
貸倒引当金	1,254,241	1,258,941
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,874,399</b>	<b>2,285,208</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>7,277,051</b>	<b>8,342,793</b>
<b>資産合計</b>	<b>35,098,561</b>	<b>38,261,136</b>

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
トレーディング商品	2,974	-
デリバティブ取引	2,974	-
信用取引負債	5,011,721	5,520,708
信用取引借入金	4,407,776	4,215,800
信用取引貸証券受入金	603,944	1,304,907
短期借入金	-	606,322
1年内返済予定の長期借入金	156,996	156,996
未払法人税等	28,517	44,452
賞与引当金	76,806	70,569
預り証拠金	7,293,076	8,159,749
預り証拠金代用有価証券	731,953	826,936
預り金	4,638,958	5,162,176
受入保証金	558,530	582,943
その他	544,795	540,261
流動負債合計	19,044,330	21,671,116
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,746,423	1,824,921
繰延税金負債	96,554	109,674
退職給付引当金	402,679	872,487
役員退職慰労引当金	397,688	397,688
負ののれん	733,479	800,706
その他	614,371	314,664
固定負債合計	3,991,195	4,320,142
<b>特別法上の準備金</b>		
商品取引責任準備金	196,625	228,844
金融商品取引責任準備金	23,432	147,892
特別法上の準備金合計	220,058	376,737
負債合計	23,255,584	26,367,996
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,753,500	2,753,500
資本剰余金	1,954,522	1,954,522
利益剰余金	8,113,494	8,141,513
自己株式	1,629,987	1,629,971
株主資本合計	11,191,528	11,219,564
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	8,595	23,589
評価・換算差額等合計	8,595	23,589
少数株主持分	660,044	697,166
純資産合計	11,842,977	11,893,140
負債純資産合計	35,098,561	38,261,136



(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業収益</b>		
受取手数料	2,819,440	2,369,478
売買損益	311,040	158,428
その他	171,849	129,931
<b>営業収益合計</b>	<b>3,302,330</b>	<b>2,657,838</b>
<b>営業費用</b>	<b>3,576,170</b>	<b>3,093,279</b>
<b>営業損失( )</b>	<b>273,840</b>	<b>435,440</b>
<b>営業外収益</b>		
受取配当金	16,176	36,472
匿名組合投資利益	-	153,466
負ののれん償却額	61,293	73,699
その他	66,522	41,693
<b>営業外収益合計</b>	<b>143,992</b>	<b>305,331</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	24,997	25,517
投資事業組合運用損	-	27,708
為替差損	21,797	26,268
その他	6,729	10,456
<b>営業外費用合計</b>	<b>53,524</b>	<b>89,950</b>
<b>経常損失( )</b>	<b>183,372</b>	<b>220,060</b>
<b>特別利益</b>		
金融商品取引責任準備金戻入	1,650	124,459
固定資産売却益	-	182,952
その他	785	87,348
<b>特別利益合計</b>	<b>2,435</b>	<b>394,760</b>
<b>特別損失</b>		
投資有価証券評価損	26,524	56,108
子会社株式売却損	1,044,686	-
固定資産除売却損	30,464	2,006
減損損失	-	41,031
商品取引責任準備金繰入額	10,493	-
その他	138,198	9,825
<b>特別損失合計</b>	<b>1,250,367</b>	<b>108,970</b>
<b>税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )</b>	<b>1,431,303</b>	<b>65,730</b>
法人税、住民税及び事業税	10,749	8,620
法人税等還付税額	29,978	-
法人税等調整額	922	922
<b>法人税等合計</b>	<b>20,152</b>	<b>7,697</b>
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>-</b>	<b>58,032</b>
少数株主損失( )	16,190	18,623
<b>四半期純利益又は四半期純損失( )</b>	<b>1,394,960</b>	<b>76,655</b>

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
営業収益		
受取手数料	1,315,557	934,802
売買損益	169,283	56,702
その他	65,020	61,987
営業収益合計	1,549,861	1,053,493
営業費用	1,747,627	1,426,841
営業損失( )	197,765	373,348
営業外収益		
受取配当金	0	17,980
負ののれん償却額	30,646	40,085
その他	33,782	15,652
営業外収益合計	64,429	73,718
営業外費用		
支払利息	9,910	12,323
投資事業組合運用損	-	27,708
為替差損	22,386	7,781
その他	6,002	3,042
営業外費用合計	38,299	50,855
経常損失( )	171,635	350,485
特別利益		
商品取引責任準備金戻入額	-	31,438
子会社株式売却益	1,085	-
固定資産売却益	-	182,952
その他	-	119
特別利益合計	1,085	214,510
特別損失		
投資有価証券評価損	17,222	5,593
固定資産除売却損	17,122	1
減損損失	-	41,031
子会社株式評価損	70,760	-
商品取引責任準備金繰入額	10,138	-
契約解約金	36,800	-
その他	824	2,200
特別損失合計	152,869	48,826
税金等調整前四半期純損失( )	323,420	184,802
法人税、住民税及び事業税	4,852	4,111
法人税等還付税額	29,978	-
法人税等調整額	461	461
法人税等合計	25,587	3,649
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	188,451
少数株主損失( )	15,022	23,765
四半期純損失( )	282,810	164,686

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,431,303	65,730
減価償却費	130,817	133,303
株式報酬費用	1,779	-
負ののれん償却額	61,293	73,699
貸倒引当金の増減額( は減少)	24,845	899
受取利息及び受取配当金	34,654	49,540
支払利息	24,997	25,517
為替差損益( は益)	21,949	20,225
持分法による投資損益( は益)	9,562	-
匿名組合投資損益( は益)	-	153,466
投資有価証券評価損益( は益)	26,524	56,108
固定資産除売却損益( は益)	30,464	180,946
子会社株式売却損益( は益)	1,044,686	-
減損損失	-	41,031
商品取引責任準備預金の増減額( は増加)	13,879	32,775
商品取引責任準備金の増減額( は減少)	10,493	32,218
委託者未収金の増減額( は増加)	53,126	106,594
委託者先物取引差金(借方)の増減額( は増加)	1,100,408	4,107
差入保証金の増減額( は増加)	369,915	833,187
金銭の信託の増減額( は増加)	400,000	400,000
信用取引資産の増減額( は増加)	1,049,337	82,533
信用取引負債の増減額( は減少)	898,194	508,987
未収入金の増減額( は増加)	239,056	115,783
未収収益の増減額( は増加)	31,252	1,765
預り証拠金の増減額( は減少)	1,522,218	866,673
未払金の増減額( は減少)	185,995	12,340
預り金の増減額( は減少)	169,149	504,913
受入保証金の増減額( は減少)	329,137	24,413
その他	113,802	293,498
小計	808,423	956,216
利息及び配当金の受取額	34,132	38,567
利息の支払額	24,283	27,240
法人税等の支払額	95,321	28,776
法人税等の還付額	501,725	15,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	392,170	958,506

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
金銭の信託の解約による収入	2,113	1,042
有形及び無形固定資産の取得による支出	171,725	17,308
有形固定資産の売却による収入	9,350	685,547
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	488,795	-
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,600	78
貸付の回収による収入	1,769,034	475
貸付けによる支出	1,260,500	-
投資事業組合及び匿名組合に係る収入	4,646	202,147
投資事業組合及び匿名組合に係る支出	5,806	4,927
その他	96,375	29,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	933,883	896,217
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入による収入	200,000	2,300,000
短期借入金の返済による支出	500,000	2,300,000
長期借入金の返済による支出	60,000	78,498
自己株式の取得による支出	148,182	16
親会社による配当金の支払額	118,559	78,584
その他	11,392	46,805
財務活動によるキャッシュ・フロー	638,133	203,903
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,279	19,912
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	102,700	286,104
現金及び現金同等物の期首残高	6,811,640	5,492,943
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	7,656	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,701,283	5,206,838

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社及び連結子会社1社は、平成22年11月1日に適格退職年金制度から確定給付企業年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理(企業会計基準適用指針第1号)」を適用いたします。なお、本制度変更に伴う影響額は算定中であり、合理的に見積る事が困難であるため記載しておりません。